



学校法人 南山学園

みその
聖園女学院
中学校 高等学校

〒251-0873 神奈川県藤沢市みその台1-4
TEL: 0466-81-3333 FAX: 0466-81-4025
<http://www.misono.jp/>

MISONO

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

みその
聖園女学院 中学校 高等学校 - 学校案内 -



踏み出す人に

一人の存在は必ず一つの貴い使命を持っている。
一人ひとりを大切に…

あなたは、どんな人になりたいですか？

困っている人に声をかけられる人、何ごとも大らかに受けとめられる人、堂々と自分の意見を発表できる人、誰も見ていなくてもそっと良い行いをする人、今なすべきことにコツコツ取り組む人…「なりたい私」に向かって踏み出そうとする気持ちをもつ人を、聖園女学院は全力で応援します。

なりたい私になるために

あなたは生まれてきただけで100点満点の存在です。そして、その存在は磨きをかけることでより一層輝きを増していきます。「なりたい私」になるための道のりは平坦ではないかもしれませんが、ですが、「なりたい私」に成長しようと強く望むなら、毎日の授業と宿題も、苦手科目も、グループワークも、一人での作業も、きっと取り組み続けることができるはずですよ。

私たちと一緒に

今あなたが生きている世界は解決が困難な問題に溢れていますが、あなたの一歩は確実にまわりを明るく照らします。その一歩を踏み出すために、私たちと一緒に、聖園で学んでみませんか。

踏み出す人になるための3つの力

見つける力

- 自分にあたえられた使命も、今なすべき課題も、自ら見つけます。
- 目に見えないものの価値や本質を求めます。

磨く力

- 現状に満足することなく、さらなる高みを目指して自分を磨きます。
- 他者や社会に貢献できるように、学び続けます。

認め合う力

- 人間の尊厳を尊重し、ありのままを認め合います。
- 自分とは異なる考え方や背景を持つ存在を受け入れます。



見つける力



授業

黙想からはじまる、実り豊かな学びの土壌

聖園女学院の授業は毎時間「黙想」からはじまります。

集中力を高めて授業に臨む生徒の姿は真剣そのもの。自分の使命を見つけ、他者や社会に貢献するために、まずはその土台となる教科の学びと振り返りを大切にしています。

ICT教育

ひとり1台iPadを持ち、課題の提出や調べ学習、プレゼンテーション、e-ポートフォリオの作成などに活用しています。部活動や諸連絡にも使用します。

小テスト

漢字・古語・英単語・数学など、朝礼や授業で行われる小テストにより、学びのリズム作りと知識の定着を目指します。

補習講習 + 日常の質問タイム

「わかった!」「もっと学びたい!」その気持ちを大切に

指名制の「補習」で自らの課題に向き合い、希望制の「講習」で興味関心を深める。その日の疑問はその日のうちに解決。毎日の小さな積み重ねで実力を養います。職員室前は、質問にやってくる生徒でいつも賑わっています。



基礎を身につける 本質に目を向ける

聖園女学院では、家庭と学校が手と手を取り合い、生徒が落ち着いた心で自分の道を進めるようにサポートしています。教科の学びで身につけた基礎を土台に、物事の背景や本質に目を向ける姿勢を養います。小さな「気づき」の積み重ねの中で自分にしかない貴い使命を見出し、今なすべき課題も自ら見つけていけるようになるのです。



放課後学習支援 (自習支援・受験支援)

見つけた「使命」の実現に向かって



自習支援

放課後18時まで図書館を開放し、常駐している女子大生の学習メンターが指導や質問対応にあたります。通い慣れた校内で、自学自習の習慣を無理なく確立できます。

受験支援

高校1年生以上を対象として、放課後に講座を設定しています。英・国・数の基礎力補充から大学受験対応まで種類は豊富。教員と受験指導の専門家が提携し、運営をしています。(別途費用)

聖園ノート

生活と学習の細やかな分析で、自分を育てる

日々のスケジュールや振り返りを記入できるノートを全校生徒に配布し、自律した生活を目指します。自己管理の大切さを学び、自分に合う学習法を身につけるため、中学1年生は週に1回ノートを担任に提出し、学習の定着度合いや、より良い生活に向けた改善点を一緒に探っていきます。定期試験や模擬試験には別冊を使い、目標設定や結果の振り返りを行います。



磨く力



身につけた学びを昇華させていく

生徒一人ひとりが自分に与えられた「よいもの」を引き出して磨きをかけるため、授業以外にも学びや挑戦の機会が数多く用意されています。

PA研修(プロジェクトアドベンチャー研修)

信頼されることと相手を信頼することの大切さ、そこからはじまるより良い人間関係の築き方を、心と身体で学ぶ体験学習です。課題解決の中でトライアンドエラーを繰り返しながら、クラスメイトとの距離も近くなっていきます。(中1・中2)



SCP(サイエンスコミュニケーションプログラム)

ロボットをプログラミングし、自律行動させる取り組みです。太陽物理学博士や現役大学院生と共に、科学そして世界の本質への理解を深めていきます。2人一組でPDCAサイクルを繰り返し、課題達成を目指します。(中1)



TPW(チームプロジェクトワーク)

「いつでも・どこでも・誰とでも」チームを組み、課題の発見や解決にチャレンジする姿勢を身につける取り組みです。無作為に組まれたチームで解のない問いに挑み、ICTを駆使してプレゼンテーションを行います。(中1~高2)



[2019年度の取り組み]

中1	人間ドキュメンタリー	高1	Global Work
中2	人間ドキュメンタリー	高2	学校フリーペーパー
中3	企業インターンワーク		



愛といのちの研修

現役助産師による講話、妊婦ジャケットの着用や胎動体感システムを使った体験プログラムを通して、「自分は生まれてきただけで100点満点の存在」であることを再認識します。たくさんの方に守られ、いただいた自分の「いのち」を他者や社会にむけてどうやって活かしていくか、ミッションスクールの一員として、またひとりの人間として考えるきっかけとします。(高1)



現地研修

入念に事前学習を重ね、教室で学んだ知識が目の前でつながっていく経験や、現地の様子を肌で感じる体験をする中で学びを深めます。研修後には現地で実際に見て・聞いて・学んだ内容のまとめに取り組み、聖園祭で発表します。



中3: 京都奈良2泊3日



高2: 平戸長崎3泊4日

認め合う力

人間の尊厳を尊重し、 ありのままを認め合う

聖園女学院は「踏み出す人に」を教育目標とし、人を愛する信念を貫き、勇気を持って社会で貢献するよう、国際教育を実践しています。各教科を通して世界の一員であることを学び、カナダ、ニュージーランドでの短期、長期留学で、本物の自分と出会います。学内にも英語だけで過ごす部屋、MEA (Misono English Academy) があり、自らを世界に発信するためのプレゼンテーション能力を鍛えます。これらの活動で養われる「見つける力」「磨く力」「認め合う力」は一生の支えとなることでしょう。

充実した英語学習

ここ数年、英語は急速に生活に密着してきました。英語を母国語とする方たちとはもちろんですが、今後生徒たちが会う人々との生活の中で、コミュニケーションツールとしての英語は日常語となるでしょう。聖園女学院では中1から英文法、語法の基礎をしっかり身に付けた上で語彙を増やし、英作文や英会話の授業では、豊かな表現力を持って発信していくことを実践しています。高2からは、それぞれの進路に必要な受験対策にも力を入れ、きめ細かい対応をしています。在学中の英検準1級、2級取得を目指し、日々研鑽を積んでいます。

[取り組み例]

- ・取り出し授業 (Advanced class of English)
- ・分級での英会話授業
- ・習熟度別授業 (高校)
- ・英検、GTECの校内実施
- ・英語劇鑑賞
- ・デジタル教科書の使用



海外研修

高1の夏休みに2週間、藤沢市と姉妹都市であるカナダ、オンタリオ州ウィンザー市でホームステイをしながら学べる体験型研修プログラムが実施されています。毎年、多くの参加希望者が語学研修および現地の高校生との文化・スポーツ交流やボランティア活動などを体験しています。



留学 (+ 給付型留学奨学金)

中3の1月から3月にかけてニュージーランドのオークランド市内にあるカトリック女子校に留学するプログラムがあります。語学力と学習意欲があり、自立を目指す生徒が対象です。様々な経験によって磨かれた実力と自信は高校生活の支えとなり、帰国後は校内でもリーダーとしての活躍や英検準1級取得など多岐にわたる成果をあげています。2019年度から1年間の留学プログラムが新設され、聖園女学院が企画する1カ月以上の海外研修には奨学金が給付されることになりました。

MEA (Misono English Academy)

本校にはネイティブの教員が昼休みと放課後に常駐し、国内にいながら留学しているような活動ができる教室があります。留学を目標としている生徒はもちろん、生徒たちは学年を越えて先生と英会話を楽しみながら海外の文化を肌で学びます。この成果はプレゼンテーション能力の向上、大学進学の実績として表れています。



教科の取り組み

総合力を育む学び

すべての教科の学習を通して、まず基礎学力を十分身につけます。その知識をさらに発展させ、考えを深め、物事の意味を正確にとらえられる心の眼を養います。個人のそれぞれの「学び」から、常に変わらない真理を探し求め、人間としての“総合力”を育てます。全ての教科は、これらの種となります。それは必ずや芽を出し、根を広げ、豊かに育っていくことでしょう。誠実に、真心を込めて励み、まわりの人々に生きる喜びを与えられる聖園生になりましょう。



国語科

言葉は文化、人としての生き方を考えるための土台

日本語を通して考えや感情を理解し、表現するための力を磨くことで、人間としての生き方、現代社会のあり方について考えます。日本の言葉や文学、文化の豊かさを理解しつつ、他者や異文化を理解することで、互いに尊重しあう心を育てます。



社会科

過去に学び、現代に問いを抱き、人間の未来をつくる

歴史や文化、社会にかかわる様々な資料を読みときながら、理解したことを相手に伝える表現力を身につけます。多様な価値観がせめぎ合う社会の中でも相互に尊重し合う人になれるよう、知識をより実践的に形作っていきます。



数学科

数学を活用して身近な問題を解決に導く

身のまわりの事柄を数学的にとらえ、課題を発見する力を養います。繰り返し問題を解き、知識を活用する力を伸ばすことで、課題を解決する力を育てます。仲間の発想や解き方からも学び、問題の解き方は一つではないと気づくことで、柔軟に発想し考えを表現する力を大切にします。



理科

「自然界の仕組み」を物理・化学・生物・地学の幅広い分野を通じて学ぶ

自然現象の不思議さに驚き、その仕組みを探求する力、つまり物事を科学的に思考する力を養うために、授業では実験を、校外学習では直に観察することを大切にします。一人での思考をグループの議論へと広げ、より深い理解をめざし、問題解決の力を養います。



音楽科

ハーモニーによる感動体験を

「歌うこと＝祈り」を大きな柱とし、他者と関わり合いながら表現を創り上げていきます。頭と身体、そして心を使った音楽活動により、個と集団の成長を目指します。



美術科

新たな自分を発見する

表現することによって自分を見つめ、鑑賞することによって自分とは異なる視点に気付いていきます。「自分らしさとは何か」を追い求め試行錯誤する年代だからこそ、自ら進んで「見て」「感じて」「考えて」そして「工夫する」ことを大切にします。



保健体育科

健やかな心と体の成長を目指して

心と体の働きについて理解を深めて自己を見つめるとともに、健やかな生活を自主的に送るための知識と能力を育みます。体育実技を通して運動能力を高めます。また、目標達成に向けての課題解決力を身につけ、「出来る喜び」を実感することで自己肯定感を高め、新たな挑戦につなげます。



技術・家庭科

今と未来を生き抜く力

実生活に結び付いた多様な知識や技能を学ぶことで、日常生活の問題を解決する力を養います。そして社会の一員として周囲の人と関わり支えあい、よりよい生活を創造していくことへ、つなげていきます。幅広い学びの土台には、自分も人も大切にする精神があります。



英語科

世界を舞台に自分を発信できる人に 自ら世界への扉を開ける人に

中学では徹底的に基礎の定着を図り、発表の訓練を重ね、自信をもってコミュニケーションできるように学びます。高校では習熟度別クラス編成にて、他者が発信するメッセージを読みとる力と自らの考えを明確に表現できる力を養います。視野を広げ、人と人をつなぐ架け橋になれることを目標とします。



宗教科

「言葉や口先によってだけでなく、 行いと真実をもって愛し合ひましょう。」(1ヨハネ3:18)

カトリックの教えに基づき、聖書のメッセージや黙想、祈りを通して「自分」を深く知り、一人ひとりが持っている自分の「使命」を考えていきます。その過程の中で、自分も他者も神の愛に結ばれていることに気が付き、社会の価値観だけにとらわれず、考えて行動できる力を培います。



聖園祭

生徒が中心となり企画・運営する文化祭です。公演や展示発表、招待試合などの催しが行われ、多くの来場者で賑わいます。教員・在校生・保護者による入試相談コーナーでは、学校生活についても気軽に質問することができます。



年間行事

ANNUAL EVENTS

一つひとつの行事に真剣に取り組む、一つひとつの季節を大切に生きることで、聖園で過ごす毎日は輝きを増します。それらはやがて未来へと踏み出していく心の栄養となります。西に富士山、南に江ノ島を望む緑豊かな丘陵地に広がるキャンパスが、6年間の学びのステージです。恵まれた自然環境と、充実した施設・設備が心身の成長をサポートします。

球技大会

クラス対抗で行われる球技大会。中学生はグラウンドでサッカーとポートボールを、高校生はマリアホールメインアリーナでバレーボールとバスケットボールを行います。工夫を凝らした応援合戦も見どころのひとつ。優勝チームと先生方の親善試合は毎年熱気に包まれます。



クリスマスツプロ

舞台を絵画に見立てて行う聖劇です。聖歌隊による合唱とハンドベルの音色を背景に、イエス・キリストのご降誕を無言劇で表現していきます。中学1年生も合唱やキャンドルサービスで参加します。



- 4 | Apl. 始業式／入学式／防災訓練／中1～高2 進路特別講座／定期健康診断
- 5 | May 中1～中2 プロジェクトアドベンチャー研修／高2 平戸・長崎現地研修／中3 京都・奈良現地研修／ロザリオの折り／前期中間試験／中学生 進路特別講座／創立記念日
- 6 | Jun. 中3 保護者会・高校進路説明会／球技大会／聖心のミサ・講話／高1 古典芸能鑑賞教室／中2 理科校外学習
- 7 | Jul. 前期末試験／高1 愛といのちの研修／錬成会／終業式／高1 カナダ研修（希望者）／夏期補習・講習・特別講座
- 8 | Aug. 夏期補習・講習・特別講座
- 9 | Sep. 静修の日 講話・ミサ／聖園祭／中1～中3 英語劇鑑賞
- 10 | Oct. 高1 街頭募金／中1 理科校外学習／中2 鎌倉研修／中3 理科校外学習／ロザリオの折り／後期第一中間試験
- 11 | Nov. 中3 高校進学面接／追悼ミサ／芸術鑑賞教室／高1 保育実習
- 12 | Dec. 後期第二中間試験／高3 卒業認定試験／クリスマスキャロル（学年合唱）／クリスマスミサ／クリスマスツプロ（聖劇）／冬期補習・講習・特別講座
- 1 | Jan. 冬期補習・講習・特別講座／中3 ニュージーランド中期留学（希望者）／高1 ニュージーランド1年留学（希望者）／中3・高2 英検／中2・高1 GTEC／中学入試事前面接／チームプロジェクトワーク学年発表
- 2 | Feb. 中学入試／チームプロジェクトワーク全校発表／新入生オリエンテーション／卒業ミサ
- 3 | Mar. 卒業式／学年末進級試験／生徒総会／修了式／春期補習・講習

その他、中学1年～高校3年まで校内模試を複数回実施し、学習到達度を客観的に確認する機会を設けています。

部活動 ボランティア活動

CLUB ACTIVITIES/VOLUNTEERING

部活動

学年の枠を越えて共に磨き合い、支え合い、自己を活かし合うことができる素敵な仲間と過ごす時間は、学校生活における大切な「宝物」のひとつです。出会った仲間と共に夢や目標に向かって進み続ける経験は、「なりたい自分を目指してチャレンジする心」を育みます。学びに向かう力、人間性の涵養を大切に、一人ひとりの成長を目指します。文化部8部、運動部9部に加え、カトリック校ならではの活動として聖歌隊、ハンドベルクワイア、セシリア会の活動にも参加できます。自分らしさを輝かせるステージで、自分自身の可能性を大きく広げていきましょう。

ボランティア活動

聖園女学院には、ボランティア活動を経験する機会がたくさんあります。高校1年生が街頭で行う「赤い羽根共同募金」をはじめとする各種募金活動、希望者による聖園子供の家でのボランティア活動、社会福祉施設での活動サポートボランティアなどを通して、他者のために自分自身を活かし、自らも成長していく姿勢を学んでいます。



文化部

演劇／科学／軽音楽／コーラス／
茶道／手芸／書道／美術

運動部

弓道／剣道／硬式テニス／
ソフトボール／ダンス／
バスケットボール／バドミントン／
バレーボール／陸上競技

その他

セシリア会／
聖歌隊・ハンドベルクワイア

施設紹介

FACILITY



1 イエスの聖心聖堂

内装にスギ材とヒノキ材をふんだんに用いた聖堂。天窓から柔らかな陽光が差し込む、祈りのための空間です。多目的室を併設しています。



2 講堂

軒を支える太い丸柱とポルト風の天井が特徴。朝礼、式典、ミサ(年5回)などを行う場所です。各種講演やクリスマスタプロ(聖劇)などの行事も開かれます。



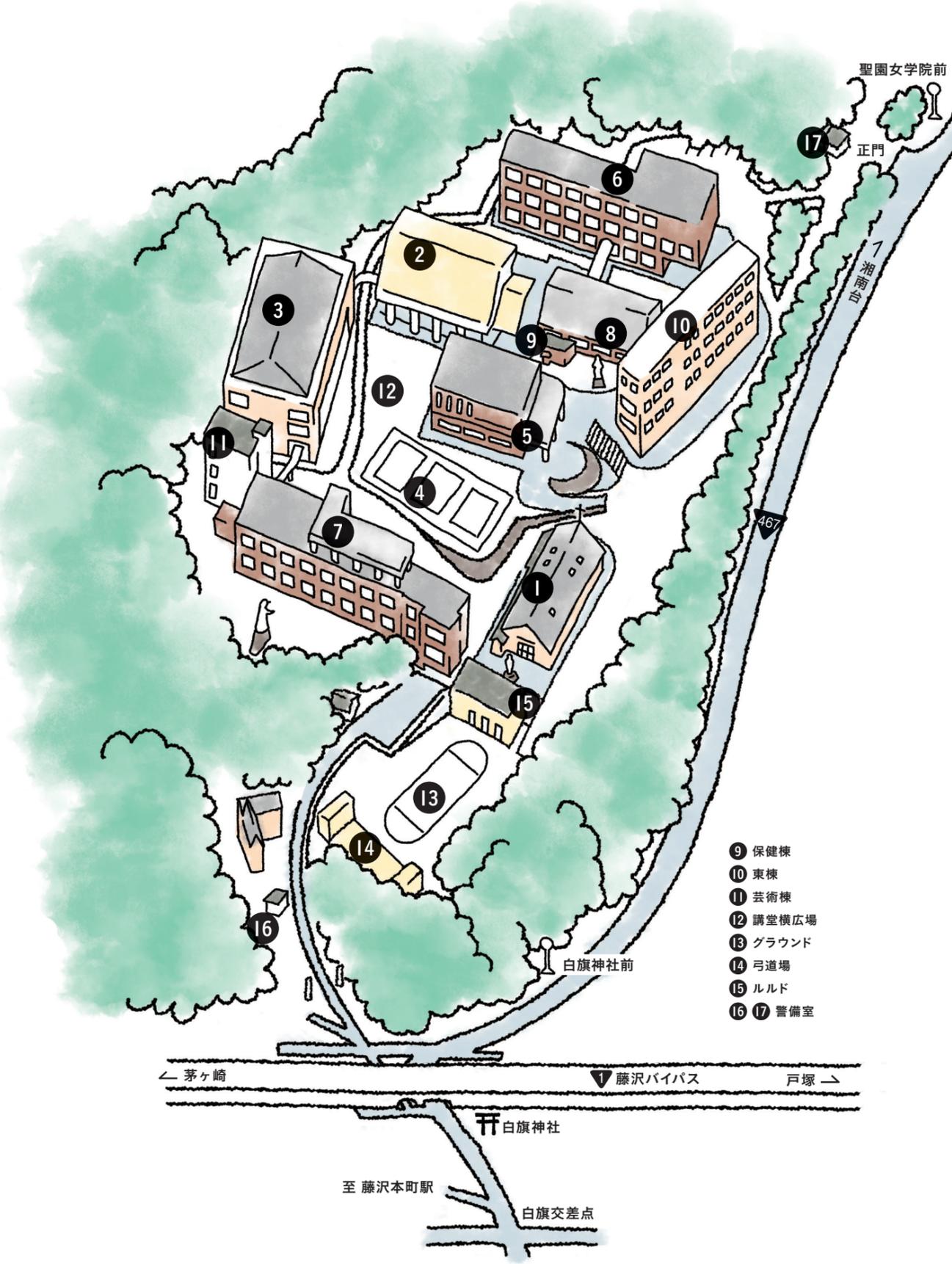
3 マリアホール(文化体育施設)

明るいメインアリーナは、バスケットボールのコート2面分の広さを誇ります。剣道部やダンス部の活動場所であるサブアリーナは、保護者会などにも利用しています。PC教室も備え、生徒たちの憩いの場であるラウンジ、部室や自販機コーナーもあります。



4 テニスコート

人工芝に砂をあわせた水はけのよいコートは、公式戦3面分の広さです。他校の選手も試合のためにたくさん来校し、活気に満ちた声が響いています。



- 9 保健棟
- 10 東棟
- 11 芸術棟
- 12 講堂横広場
- 13 グラウンド
- 14 弓道場
- 15 ルルド
- 16 17 警備室

5 管理棟

校長室、職員室、会議室、面談室、事務室などがあり、学校の核となる建物です。面談やミニ授業ができるスペースもあります。



6 高校棟

ツツジやハナミズキの花々が目にまぶしく、メタセコイヤの緑陰に包まれる高校棟は、各学級教室の他に、調理室、化学室、多目的教室、自習室などがあります。



7 中学棟

各学級教室の他に、美術室と多目的教室があります。英会話を通じ異文化を学ぶMisono English Academyの教室は、外国の学校に来たような雰囲気があります。天気の良いと富士山や江ノ島が見え、春には桜の花に包まれます。



8 図書館

蔵書数約5万冊、貴重な書物も揃えています。静かでゆったりとした空間は自習の場として最適です。放課後には学習支援のメンターが質問に答えてくれます。窓からはKleines Glück(小さな幸せ)と名付けられた庭が見え、初夏にはバラの花が楽しめます。



防犯・防災の取り組み

2か所の警備室には、生徒の登校時間から下校時間まで警備員を配置しています。藤沢本町駅からの登校路の途中に警備員による交通安全の見守りを実施しています。校舎には18台の防犯カメラを設置し、職員室でモニタリングしています。被災時の学校滞在に備え、非常食、飲料水、防寒用具、簡易トイレなどの備蓄もあります。

校長メッセージ

MESSAGE



校長 ミカエル・カルマノ

聖園女学院でよく耳にする言葉があります。

「あなたはありのままがいい」

一人ひとりを大切に先生方の心遣いが感じられる、励ましの言葉ですが、「じゃ、何もしなくていい」という、自己満足を黙認する言葉ではありません。むしろ、ありのままの自分は“Only One”、他の人が持っていない力の持ち主だ、ということに気づかせようとする言葉です。

「みんなちがって、みんないい。」(金子みすゞ) 聖園女学院で一緒に勉強している人は競争相手ではありません。むしろ、それぞれが持っている違う力を組み合わせて、一人だけでは達成できない大きなプロジェクトに取り組むために一緒に踏み出す友達です。

自分の力を信じて、そして友達が持っている力を認め合って、思い切って踏み出してみてください。きっと今まで想像も出来なかった発見があるでしょう。

校訓

信念

人間として不可欠だと信じていることを、時間をかけて確認し、心に刻んで活動のバネとします。

精励

力不足で不完全である自分を受け入れながら、なお成し遂げたいと思っている目標に向かって、自分が持っているものの全てをかけて前進します。

温順

意見や価値観の違いを越えて一緒に生活している人を快く受け入れ、世界平和の実現に貢献します。

沿革

- 1920年 神言会司祭、新潟教区長ヨゼフ・ライネルスによって聖園女学院の設立母体「聖心の布教姉妹会」が創立される。
- 1946年 聖心の布教姉妹会によって、旧制「聖園女学院高等女学校」が創立される。
- 1948年 学制改革で「聖園女学院高等学校」に名称を変更する。同時に、「聖園女学院中学校」が併設される。
- 1976年 中高6か年完全一貫教育を開始する。
- 2015年 創立70周年を記念して、「イエスの聖心聖堂」が献堂される。

南山大学との提携

南山学園は南山大学を中心に幼稚園から大学院までを擁するカトリック総合学園であり、聖園女学院はその一員です。このため名古屋にある南山大学にも太い絆をもち、大学教授による特別講座、学校長による南山大学キャンパスツアーなどを実施しています。学園内推薦も充実しています。



Find your mission!

